

# 福祉住環境アワード 2020 募集要項

## ■ 対象

日本国内に所在する企業、社団、財団、NPO や民間の事業者等が、2019年4月1日から2020年3月10日までに実施（実施予定含む）した、「誰もが自分らしく住み続ける」ための今後の日本において予測される（現在存在する）社会的課題解決に向けた活動事例及び調査研究。（但し、実施予定に関しましては、期限内に実施されることが条件）

## ■ ジャンル及び選考

以下の4部門をジャンルとし各部門ごとに原則1つの優秀賞を選考委員会にて選考します。

受賞活動にはウェブサイト等で発表及び表彰状とトロフィーを贈呈します。

### 1. 住環境整備部門

・高齢者、障がい者、子供や若者等が「自分らしく住み続けることの出来る」ための住環境整備の事例及び調査研究

### 2. 住まいづくり部門

・課題を解決するための新たな住まいや住まい方の事例及び調査研究

### 3. まちづくり部門

・課題を解決するためのまちづくり活動の事例及び調査研究

### 4. 地域づくり部門

・課題を解決するための地域で必要とされる空間を創造（運営）した事例及び調査研究

### 5. その他

- ・住環境のみならず芸術・文化と学術研究、福祉、環境問題、スポーツ等との領域横断型の活動も対象とします。
- ・複数企業・団体による共同活動や、企業、学校、NPO や自治体等との協働も対象となります。
- ・企業等の営利を主たる目的とする活動も対象とします。

## ■ 選考ポイント

課題解決性：目的としている課題が社会のニーズに適合しているものであり、団体の活動がこれを解決した、または解決に導いているか

先 駆 性：新たな視点からの取り組みであるか又は活動地域に同様の取り組みが無いのか

連 携 性：複数の専門分野との連携、企業、学校、NPO や自治体等との協働等で行われているか

継続発展性：課題解決が一過性で終わること無く、波及効果が見込めるか

上記4つのポイントを中心に地域資源を活動にいかす工夫、地域とのかかわり方、社会に与えるインパクトや貢献度等を考慮し選考します。

## ■ 選考委員

吉永美佐子氏「NPO 法人高齢者快適生活づくり研究会」代表理事

佐藤 眞一氏「大阪大学大学院人間科学研究科」教授

松尾 清美氏「佐賀大学医学部」准教授

川瀬 健介氏「福祉住環境コーディネーター協会」理事

江草 典政氏「島根大学医学部附属病院」療法士長

芳村 幸司氏「NPO 法人ユニバーサルデザイン推進協会」代表理事

## ■ 結果発表・贈呈式

選考結果は、2019年12月初旬に書面でお知らせします。

受賞活動についてはウェブサイト等で発表、受賞企業・団体へ表彰状とトロフィーを贈呈します。

## ■ 贈呈式

・日時（予定）2019年3月16日（土） ・場所（予定）第六回福祉住環境サミット会場（大阪大学豊中キャンパス）

## ■ 応募・推薦方法

以下いずれかの方法で、9月30日（水）24：00までに、ご応募・ご推薦ください。

\*応募：必要事項を記入した応募用紙 [EXCEL(.xlsx)] を添付してメールで送信

\*推薦：必要事項を記入した推薦用紙 [EXCEL(.xlsx)] を添付してメールで送信

応募、推薦用紙は福祉住環境サミット HP よりダウンロード出来ます。 <http://www.fj-s.net>

